

## アオダモ、トネリコ の蛍光物質（クマリン）の観察

23.9.13 調べ

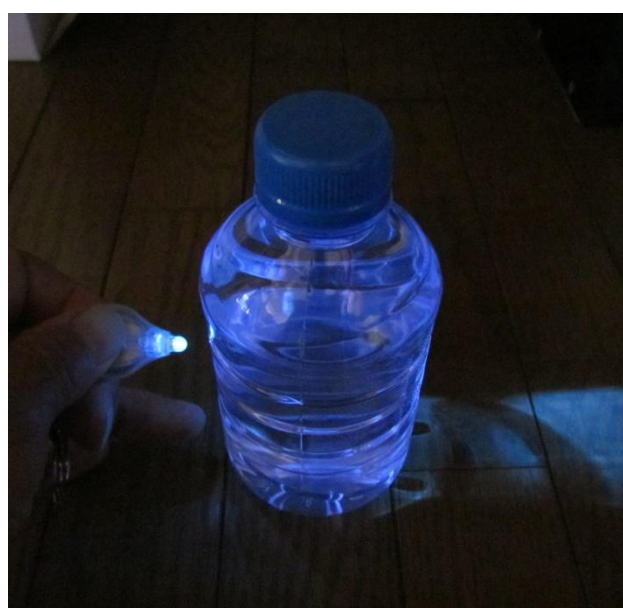


水にトネリコの枝の切れ端を入れ、紫外線（UV-LED）を当てると、左のように蛍光物質が切口から溶け出している様子が観察できる。

中が白い陶器カップ（下）に入れ、暗い場所で観察すると、良くその様子が観察できた。日照下でのペットボトルや、ガラスコップでも明瞭な変化が観察できる。



灯油には、クマリンが添加されているようだ。（日本では、クマリンは、軽油引取税の脱税防止のため、不正軽油の検出・摘発を容易にする為、軽油識別剤として、平成3年3月から灯油及びA重油に、1ppmの濃度で添加されているとのこと。）紫外線を当てると、かすかに変色する。



普通の水道水は、紫外線を当てても、変化が認められない。